

こんにちは

第187号

2026年(令和8年)
5月1日発行

須坂市議会です

発行 ● 長野県須坂市議会

発行責任者 ● 議長 石合 敬

編集 ● 市議会広報特別委員会



【表紙作品「見慣れた景色」への思い】

この作品は、一年間過ごした思い出の教室を撮影しました。友達と過ごした日々の一つ一つが詰まった場所で、私たちにとって大切な居場所です！

「見慣れた景色」 伊藤 梓さん
須坂高等学校写真部、部長さんの作品です(P19で部の紹介)

3月 定例会

2月24日～
3月24日

議案審議.....	P2～4
委員会・分科会(当初・補正予算).....	P4・5
ズバリ! 市政を問う(代表質問・一般質問).....	P6～15
議決結果・陳情審査結果・広域連合等報告.....	P16・17
議会の動き・須坂高等学校写真部の紹介.....	P18・19
市民の声・6月定例会日程(予定).....	P20

6月定例会は6月8日(月)開会の予定です

3月
定例会

2026年度 一般会計予算 242億5000万円を可決



提出議案等

前年度過去最大の312億円から69億5千万円減 (▲22.3%)
当初予算大幅に削減!!

今定例会では、26年度当初予算案、25年度補正予算案や条例案、人事案など51件について審議した。修正案1件及び議員提出の議員報酬削減と定数削減の2件を否決した。他は全て原案のとおり可決、承認、同意等した。また附帯決議1件を可決した。

主な増減項目	前年度比較
人件費：正規職員 会計年度職員	8,413万7千円 増 ▲1億6,599万3千円
ふるさと納税の返戻品・手数料・郵便料	▲12億5,886万3千円
ふるさと納税積立金	▲18億8,722万1千円
通信指令システム負担金（債）	▲4億4,301万1千円
くつろぎ荘長寿化改修	▲3億8,460万円
水路・道路補修・道路改良（単独）	▲3億8,400万円
小布施分署建設	3億3,600万円 増
市庁舎建設基金	▲2億9,959万8千円
小中学校情報端末	▲2億3,377万円
須坂小学校改修（第1期）	▲2億2,360万円
児童手当等支給事業	▲1億8,237万円
防災行政無線機能強化（債）	▲1億6,240万円
生涯学習センター西館解体工事	▲1億4,500万円
人形博物館空調設備改修	▲1億3,900万円
笠鉾会館空調設備改修	▲1億1,360万円
融資枠縮小による市制度資金	▲1億円
予防接種	▲8,200万円
施設の廃止、直営化による指定管理料	▲7,623万円

討論 一般会計

国民健康保険 特別会計 予算
後期高齢者医療

反対 竹内 勉

一般会計10%削減で公共施設使用料等値上げ、職員給与等の減額、普通建設事業費削減など、市民サービス・市民生活に重大な影響を与える予算になっている。
国民健康保険は、子育て支援分上乗せによる引上げ。例として、夫婦と子ども2人、年収500万円の世帯は年額1万2000円の負担増に。
後期高齢者医療保険料は、子育て支援分を含めて平均年額8万3139円（5276円の引上げ）。

峰の原高原飲料水供給施設給水条例・水道事業給水条例の一部を改正する条例 《賛成多数で可決》

概要
水道事業等の健全な経営と安定給水を図るため、水道料金を27年4月1日から引き上げる。

討論 水道料金の値上げに

反対 竹内 勉

27年度から、5年毎に水道料金9%、20年かけて40%以上の値上げ。水は人間が生きていくうえで絶対にかかせない命の水だ。
更新工事計画を長いスパンに変更、インター周辺開発による水道料金収入増、大口未収金等の解決、24年度水道事業会計決算では現金預金約17億円と積立金2億5800万円、更新工事の借入は有利な起債をうまく活用、一般会計からの基準外繰入金も活用して、水道料金の値上げは止めるべき。

附帯決議（要旨）

提出：経済建設委員会

物価高騰等の社会情勢の中、水道料金の値上げについては、市民生活に大きく影響する重要な問題である。計画どおり5年ごとに見直すのではなく、都度、社会情勢を加味して見直しを行い、極力値上げ幅を抑えるよう努力してもらいたい。

《賛成多数で可決》
賛成17人、反対2人



一般職員の給与に 関する条例改正の 修正案

《賛成少数で否決》

賛成4人・反対15人

概要

25年人事院勧告未実施分の
遡及適用を26年4月1日から
施行する。

修正案

遡及適用を26年1月1日か
らとする修正案が、荒井敏議
員ほか1議員から提出された。

討論

給与条例 修正案に

賛成

岩田 修二

人事院勧告は、民間給与との
均衡を図り、公務員給与の客
観性と公正性を担保するため
の制度である。その実施を、何
ら責任のない職員に、財政事
情のみを理由として見送るこ
とは、極めて不条理な対応であ
ると言わざるを得ない。

本修正案は、厳しい財政状況
を踏まえつつ、少なくとも1月
1日に遡及して人事院勧告を
適用することを求めるもので
あり、職員の努力に報いるうえ
でも、極めて合理的かつ妥当な
提案である。

議員報酬削減の提案

《賛成少数で否決》

賛成9人・反対10人

岡田宗之議員ほか1議員から、26年4月
から在任期間の27年1月までの10カ月間の
議員報酬を、議長10%、副議長5%、議員
3%削減する提案が提出された。

討論

議員報酬削減に

賛成

宮本 泰也

26年度当初予算が議決されたが、ふる
さと納税返礼品における制度の指定取り
消しにより、市民に多大なる影響を与え
ることとなった。

ひとえに理事者の決断ミスがこのよう
な結果になったことは明白であるが、組織
としての検証も反省もなされていない。
ふるさと納税を当てにした財政拡大は、
市長に全面的な責任があるとする議員も
いると思うが、市議会も市の組織として、
責任を明確にすることにより、改めて市
長の責任を明確にし、検証と再発防止策
を策定し、市民に公表されることを求め、
賛成する。

反対

野崎 天馬

議員報酬削減自体を否定するものでは
なく、財政健全化に向け市民と痛みを分
かち合う必要性は認識している。

しかし、議会運営委員会等で十分な協
議がなく合意形成の過程も不十分なまま
提出された。閉会日での提案理由も明確
ではない。

重要な課題であるからこそ拙速な判断
は避け、正式な協議を経て6月議会で改
めて判断すべき。

須坂市議会議員定数条 例の一部を改正する条 例

《賛成少数で否決》

賛成8人・反対11人

浅井洋子議員ほか1議員から、20
人を18人に改める条例改正案が提出
された。

討論

定数削減条例に

反対

早川 航紀

定数問題について「両論併記」と
中間報告した特別委員長本人が、そ
の後一度も委員会を招集せず、閉会
日直前に唐突に提出したもの。地方
自治の根幹である委員会中心主義を
揺るがす重大な瑕疵があり、市民へ
の説明責任を欠いている。本質的な
議論を抜きにした拙速な削減は、行
政へのチェック機能を弱める。

反対

岩田 修二

議会は住民の多様な声を市政に反
映させるための重要な機関である。
定数削減は、その声を受け止める器
を小さくすることに他ならず、結果
として特定の地域や少数意見の切り
捨てにつながる恐れがある。

また、行政に対する監視機能や政
策立案能力が低下するおそれもある。
議会の責務は、より多くの住民の
声を的確に把握し、市政に反映させ
ることにある。

反対

久保田 克彦

議会本来の機能を低下させ、
市民を議会から遠ざける。人口
減少問題は、議会にとっても重
要なテーマであり、議員定数は、
実際の人口動向をもとに、様々
な角度から議論を尽くすべきだ。
議会自ら身を切る改革というが、
定数削減と同列に論じることが
無理がある。議員2名減らして
も、市予算の0.06%弱だ。議
員定数に関わるコストは、民主
主義を保障する上で必要不可欠
なものだ。

中東地域での戦闘行為 の中止と平和的解決を 求める決議

《全会一致で可決》

中島義浩議員ほか5議員から提出
された。

概要

国会及び政府におかれては、中東
情勢の平和的解決のため、次の事項
について強く要望する。

- 1 日本政府として、アメリカ・イス
ラエル・イラン政府に対し、直ち
に戦闘行為を中止するよう求める
こと。

- 2 日本政府として、対話による平和
的解決を目指した積極的な外交交
渉を行うこと。

議場に国旗及び市旗を掲揚する決議

《賛成多数で可決》

賛成13人・反対6人

早川航紀議員ほか1議員から提出された。

討論 決議に

反対 岩田 修二

地方議会は住民全体の代表機関であり、特定の思想や価値観に偏らない「中立性」が求められており、議場は、政策を議論し意思決定を行う場。象徴物の掲示は本質的ではない。「議論の中心こそ重要であり、国旗という象徴の掲示は不要」掲示されることで、議員や職員に対して無言の同調圧力が生まれる可能性がある。

地方議会は国から独立した自治機関であり、「国家の象徴を掲げることが必須ではない」。

反対 久保田 克彦

議場は中立公平が求められる、「日の丸」を掲揚することは一方の意見だけ取り入れることになり、なじまない。

国旗に対する国民一人ひとりの態度や信条については自由だ、というのが憲法の理念だ。

本議会は、全会一致を原則とし努力が図られてきた。少数意見を多数で押し切ることは、戒めねばならない。反対意見がある中、「日の丸」掲揚を強行することは許されない。

福祉環境

手話言語条例の制定

委員長 山崎 永一
副委員長 霜田 剛
委員 西脇 泰隆
西脇 泰隆
宮内 勉
竹内 子
浅井 洋子

Q 条例制定後の市民への広報など浸透策は。

A 各種イベントや、出前講座、簡単な手話動画のSNS配信など手話が言語であることを広く知っていただくために実施していく。

《全会一致で可決》



常任委員会報告

老人福祉センター条例の改正

Q 指定管理から市直営になることで使用料はどのようになるのか。

A 公民館などと同様に営利目的の利用に対し料金設定をするが、高齢者が本来の目的に沿って使用する場合は従来通り使用料は免除。

《全会一致で可決》

峰の高原飲料水供給施設給水条例の改正

Q 対象世帯数と値上げの増加率は。

A 別荘、ペンション等、合計46件が対象、料金表の改正により4・3%から25%、平均17%程度の値上げとなる。基本料金増加に伴い、使用水量が少ないほど影響が大きくなる傾向。

《賛成多数で可決》

経済建設

湯つ蔵んど条件付き無償譲渡にかかる公募型プロポールの実施

委員長 中島 義浩
副委員長 早川 航紀
委員 牧野 重信
堀内 一之
岡田 宗一
岩田 修二

Q 市民が望む温泉事業を安定的に運営できる事業者を選定しなければならぬ。継続した運営が可能か判断できるような事業計画等の審査を加えてほしい。

A 市が指定した温泉事業実施期間（5年間）の改修（修繕）計画、維持管理計画、資金計画、収支計画の提出を加えて審査を行う。

Q 外国資本や県外資本の会社も参加資格はあるのか。

A 特に地域制限は設けず、プロポールの応募は広く案内していきたい。

Q 規模縮小（内湯のみ運営など）の制限は。

A 譲渡条件には加えないが、どのような運営を計画しているかは、慎重に審査する。



湯つ蔵んど

総務文教

人事院勧告における市職員等の給与の見直しに伴う条例改正

委員長 水越 正和
副委員長 久保田 克彦
委員 野崎 隆義
野崎 隆義
野崎 隆義
野崎 隆義
野崎 隆義
野崎 隆義

Q 修正案を提案する理由は。

A 25年人勸の未実施について12月議会にて「完全実施を求める決議」も採択している。財政状況を考慮して昨年4月に遡ることは無理でも、本年1月1日から遡及適用を求める。

Q 必要となる予算は。

A 5千万円程度。《修正案を否決、原案を賛成多数で可決》

Q 条例にある地域限定保育士の制度化とは。

A 県が実施する実技講習会の受講をもって、県内のみで有効な保育士の資格が得られる。登録後3年が経過し、1年以上の実務経験があれば、全国で働ける保育士資格に登録できる仕組みだ。

Q 長野県で実施する計画はあるのか。

A 予定は聞いていない。

《全会一致で可決》



ことりの家

2026年度

当初予算

農業・下水道・生活

鳥獣被害防止対策事業の有害鳥獣駆除報奨金 100万円

Q 猪や鹿の単価が下がったが詳細は。
A 来年度は、成獣と幼獣で分けて単価設定したいと考えている。猪、鹿の単価は2万円だったが、成獣は1万8000円、幼獣は5000円とし、予算の範囲内で捕獲をお願いしたい。



有害鳥獣

ウォーターPPP導入可能性調査業務委託 2695万円

Q 委託の詳細は。
A 下水道事業について、国から官民連携を推進するよう働きかけがあった。今後、収入の減少、職員不足や施設の老朽化が加速する

ことが見込まれることから、民間活力の導入をしていくこととし、来年度は、マーケットサウンディング調査などにより、民間に委託して事業が実施できるのか、参画する企業がいるのかどうか可能性の調査を行う。

キャッシュレス決済消費喚起事業 4500万円

Q 委託先の選定をどのように考えているか。
A 今年度、同事業を実施いただいた事業者は、利用店舗の開拓なども行っていただき、ノウハウもあることから、費用が抑えられることが見込まれる。決定はしていないが、多くの消費者へ還元できるよう事業者の選定を検討していきたい。

消防・子育て・公共施設

指令業務共同運用負担金 1476万円

Q 消防指令センター共同運用負担金の長野市との案分割合は。
A 須坂市の負担は18%となる。



開所式の様子

学校給食費負担軽減交付金 1億281万円

Q 詳細は。
A 県交付金で、5月1日現在の在籍児童数に基づき、一人当たり5200円支給される。

図書館の図書購入費 800万円

Q 昨年比320万円の大減。市の財政状況から理解はするが、この状況が継続されることはないのか。
A 全体的な予算の精査も行い、今後復活できるように努める。利用者にも迷惑がかからないよう努力、工夫する。

庁舎管理事業／エネルギーサービスプロバイダー業務委託 333万円

Q 不登校児童も含まれるが対応は。
A 今後検討する。

Q 高圧電力料がどの程度安くなるのか。
A 対象となる公共施設は29施設で、年間900万円の削減が見込まれる。

財産管理事業／普通財産の処分 76万円

Q 不動産の鑑定料や登記手数料が計上されているが、決まっている案件はあるのか。
A 情報センターは、鑑定を行い売払いを進めるため予算化した。

Q 詳細は。
A 育児に不安のある世帯の子どもを、児童養護施設で平日夜間や休日に関わり保護者負担の軽減を図る。事業費の内訳は、平日、休日とも一か月で4人を想定、委託料は平日1500円、休日2700円。

福祉・医療

老人福祉センター管理事業 2740万円

Q くつろぎ荘が直営管理となり、予算が減額となっている理由は。



くつろぎ荘

A 指定管理時の実績をもとに事業内容を精査した結果減額となった。新たな経費として送迎車両の購入費なども見込んでいる。

小児医療体制確保事業 廃止

Q 信州医療センターで実施していた小児科診療体制の拡充が廃止となる理由は。
A 1日1・5人という利用実績と700万円の費用対効果、派遣医師の確保が困難なこと、市内での小児科新規開業などから総合的に判断した。

2025年度補正予算

動物園入園料 △235万円

Q 入園者数の状況は。

A 当初予算では、目標数値である15万人の入園者を見込み予算計上したが、2月末時点の入園者数は、無料も含め10万1708人であり、3月分の入園者数を見込んで減額した。

児童手当等支給事業 △1億5000万円

Q 減額の要因は。

A 前年度18歳までに拡充され、第3子には月額3万円の支給など受給者が大幅に増える中、多めに見込んだため。

利子割交付金 増額1030万円

Q 増額の要因は。
A 預金利子が増したため。

議案審議

委員会

分科会

一般質問

審査結果

代表質問
一般質問ズバリ!
市政を問う

代表質問は、会派として施政方針や市長の行財政運営の基本姿勢や政治姿勢を問うものです。一般質問は、議員が市の行政事務全般の執行状況や将来の方針等について政策提案を含めて質問し、市長や教育委員会などの見解を求めるものです。質問事項は事前に通告され、質問時間は一人30分以内（答弁は含まず）です。



文芸協のご協力により議場が華やかに
(今回は、桜、ストック、ソテツ、南天の葉を生けてくださいました。)

代表質問

いいよね須坂（野崎天馬）…… P7

- 今予算案は「体質改善」か「縮小」か

輝奏会（中島義浩）…… P7

- 市長任期折り返しの市政運営の総括と今後の重点課題

市民共創会（岩田修二）…… P8

- 第二次高市内閣の経済政策にどう向き合うか
- 2026年度施政方針並びに予算について
- 主なる施策の概要について

一般質問

荒井 敏…… P8

- 離婚と子どもの養育費について
- 区に加入しない市民対策

荒井 一彦…… P9

- 地域包括支援センターの利便性向上について
- 特殊詐欺とSNS型の急増への対応策について

浅井 洋子…… P9

- 誰もが個性や能力を發揮し自分らしく暮らせるまち
- みんなの意見が反映されるまちづくり

酒井 和裕…… P10

- 須坂市が今後、財政が厳しい中でインフラ整備をどのように進めていくのか
- 須坂市の地域防災計画における林野火災対策について

堀内 章一…… P10

- 部活動の地域移行とクラブの運営方針
- 包括的ケアラー支援の確立と支援条例の制定について

水越 正和…… P11

- 持続可能な観光の推進と地域経済活性化に向けた戦略について
- 子どもたちの教育環境の充実と複式学級の解消について

早川 航紀…… P11

- 選ばれる須坂の学校給食へ、学校給食の質的向上と持続可能な財源確保について
- DX推進元年、須坂市DX推進計画の実効性と推進体制の検証

岡田 宗之…… P12

- 持続可能な地域自治に向けた「ゼロベース見直し」による抜本的改革について
- 消防・救急体制の充実について

西脇 隆…… P12

- 人口減少・世帯減少時代の市政について
- インター周辺の交通について
- 国政選挙における投票率について

牧 重信…… P13

- 市政の課題

浅野 隆義…… P13

- 子育て環境の現状と今後について
- 須坂市動物園の運営状況と今後の展望について

山崎 永一…… P14

- 観光行政について

竹内 勉…… P14

- 第六次須坂市総合計画の将来像「豊かさとしあわせを感じる共創のまち 須坂」の到達点と方向性は
- 26年度当初予算 施策方針と予算説明について
- 下水道事業に官民連携のウォーターPPP導入可能性調査を実施する

宮本 泰也…… P15

- 三木市政を問う
- 2026年度正規職員と会計年度任用職員の採用について
- 須坂学園構想と子どもの居場所づくりについて

久保田 克彦…… P15

- 学校統廃合の新しい局面、地域住民や保護者の意見をどう方針に反映させるかが問われている
- みんなの施設30%余の削減計画～一方的な削減、統廃合、縮小では市民生活や地域の分断をまねく

※各ページの二次元コードをスマートフォンなどで読み込むと、その議員の質問・答弁の録画映像がご覧いただけます。

代表質問



予算案は体質改善か縮小か

体質改善である

いいよね須坂

のどき てんま
野崎 天馬 議員



削減のその先にどんな未来を描いているのかを知りたい

問 財政健全化の未来として、今回の削減で財政構造は本当に改善されたのか。
市長 歳出削減目標は達成したが、財政調整基金を繰り入れて収支均衡を図っており、硬直的な構造が直ちに解消したわけではない。将来投資へ向けた体力回復はまだ途上である。



約 69 億 5 千万円の大幅減となった予算案

問 公共施設再編で2060年までに28・75%削減するというが、残る施設のビジョンは何か。
市長 単なる縮減ではなく、必要な機能を集約し「新しくつくる」から「賢く使う」への転換を図り、持続可能な施設配置へ再構築を進める。

問 子ども政策は基金を取り崩す中でも恒常的に続けられるのか。
市長 国県補助を最大限活用し、事業の優先順位を明確にしながら財源を確保し、将来世代への投資として持続性を担保する。

代表質問



市政任期の総括と今後の重点課題

重点事業は数値目標を掲げてない

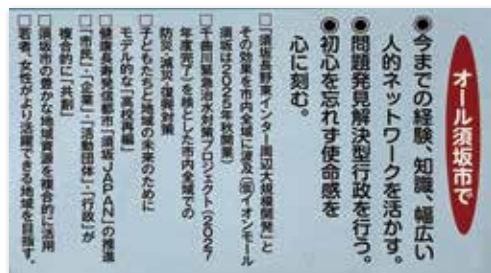
輝奏会

なかじま よしひろ
中島 義浩 議員



多くの施設が平日閉鎖する。イオン来客者は、周遊することができるのか

問 公約の達成度の自己評価について。
市長 公約の重点事業は、数値目標はない。
問 財政の健全性は維持できているのか。
市長 25年7月1日に発出した「財政健全化実行宣言」を継続している状況だ。交付金では、経常経費への活用取り止め（恋人の聖地事業の廃止）、基金残高では、財政調整基金を含む基金残高は26年度末で77億円。市債残



市民と作る公約重点的的事业

高は、26年度末で168億円である。
問 子育て・福祉施策の評価について。
市長 妊娠・出産・子育て全般に関する相談を総合的に受け付ける子ども家庭センターを設置した。
公立保育園の支援策として、家庭へ持ち帰っていた使用済おむつの園内での処分。また、今後は公立園での主食の提供などの課題に取り組んでいく。
問 小学校の給食費の保護者負担軽減策は。
市長 国の「給食費負担軽減交付金」により全額無償化とする。
問 市長の最優先課題。
市長 持続可能な行政運営を進めることだ。

(一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。)

方針どおりの予算編成はできたか

代表質問

編成方針に沿った予算ができた

市民共創会

いわた しゅうじ
岩田 修二 議員



家計が苦しくても貯金はあまり使いたくない。なぜ？「今でしょ」

問 市民ニーズへの対応と健全財政維持の両立を図る予算編成となっているか。
副答 一般行政経費は、10%削減という非常に高い目標を達成するとともに、福祉や教育など真に支援を必要とする方へのサービスには予算を確保するなど、予算を重点配分することができた。
問 国の小学校給食費無償化の方針によ

る負担軽減の内容について。
副答 全額無償化とする。
主なる施策の概要
問 訪問介護の充実に向けた取組についての考えは。
副答 処遇改善については、国の補正予算でも対応しており、26年度からは臨時の介護報酬改定が予定されているので、各事業所に周知していく。
問 公共交通確保のため公共交通事業者への支援策については。
副答 市内公共交通事業者と定期的なミーティングを行っているもので、実効性のある施策について協議していく。



守れ、公共交通

区未加入者にゴミ管理協力費を

実施している区は不公平感を解消

あら い さとし
荒井 敏 議員



武力で他国へ侵攻する米大統領に異を唱える事も出来ない日本政府

問 区未加入の方は区費を払っていないがゴミは出している。ゴミステーション設置費は区や住民が負担している。防犯灯の電気代や側溝掃除、道路の草取りも区民で負担している。区民に不公平感があり、区を抜ける方も出ている。どうしたら良いか。
部長等 区に入会し、ご近所同士で助け合っ

て頂きたい。区未加入者から、ゴミ管理協力費を頂いている区もある。
離婚と養育費
問 本年4月1日から、離婚した時の子供の養育費が、相手からもらいやすくなる『法定養育費制度』が施行される。どのようになるのか。
部長等 離婚協議書や養育費合意書の公正証書が無くても、取り決



区未加入者からは、ゴミ管理協力費を！

(一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。)

高齢者の生活全般の心配事は

地域包括支援センターに相談を

あらい かずひこ
荒井 一彦 議員



介護や虐待などの緊急時には包括支援センターに相談して下さい

問 地域包括支援センターとは、高齢者の健康面や生活全般に関する相談を受け付けていて、地域に密着した総合相談窓口だ。相談できる内容は、日常生活でのちょっとした心配事から、病気、介護、金銭的な問題、虐待など、どんな事でも良いとなっている。

部長等 被害に遭いやすい高齢者や若年層を中心に要望に応じ出前講座を実施し啓発に努めているほか、市報でも定期的に詐欺や悪質商法に気を付けるよう周知を行っている。

部長等 周知向上策として、後期高齢者の一人暮らしや、高齢者世帯の実態把握訪問を実施し、センターの支援内容を良く知って頂くように努める。



やすらぎの園そよ風2階



市役所本庁舎2階

市にも「ミモザの日」を広めては

男女共同参画推進会議で検討

あさい ようこ
浅井 洋子 議員



主権者教育は学校間の格差が生じないよう配慮ができないか

問 3月8日は国際女性デーです。別名は「ミモザの日」。市でもこの日に合わせて広報・啓発活動や講演会などを開催してはどうか。須坂市の「ミモザの日」をお互いに感謝し、認め合う日として広めてはどうか。それが社会全体の意識改革に繋がれば良いのでは。



感謝を込めて「ミモザ」の花を贈りましょう

問 期日前投票率は小選挙区で56・26%に当たる。近頃、商業施設などに期日前投票所が設置される事例が増加している。イオンモールに設置できないか。

部長等 運営に必要な選挙事務員や立会人の確保が困難で、現時点ではイオンモール須坂への設置は困難。

問 県内では色々な取組をしている市町村がある。それらの市同士の交流はしているのか。

部長等 実際にイベント等の情報交換はしていない。今後、実施できればと思う。

投票参加を促す取組は

財源が厳しい中、インフラ整備は生活基盤であり確実に維持をする



さかい かずひろ
酒井 和裕 議員



財源は厳しいがインフラ整備は行政の基本で市民生活基盤を守って

問 須坂市が今後、財源が厳しい中で社会インフラ・経済インフラなどのインフラ整備をどのように進めるのか。
答 市民負担の少ない施設として有効活用しながら施設の更新、また、経済インフラの道路、橋りょう、上下水道などは計画的な維持管理と更新により、市民生活の基盤を確実に守っていく。
問 須坂市公共施設等総合管理計画改定案に



岩手県大船渡市の林野火災、鎮火まで1カ月、産業被害額100億円
(提供：諏訪広域消防本部)

問 昨年、岩手県大船渡市で大規模林野火災があり、最近では鹿教湯温泉で山林火災があり防災ヘリにより鎮火したがどのような状況で要請するのか。
部長等 県消防防災航空隊へ一報し要請。

消防防災対策
ついで、市民の皆さんから今後の検討への参考にするため、パブリックコメントを実施したがどのくらいのコメント数、また、内容はどうか。
部長等 コメントは4件であり、個別の施設に係る今後の整備方法、施設の私的利用方針の拡大などの意見があった。

ヤングケアラー支援条例の制定は

現段階では考えていない



ほりうち しょういち
堀内 章一 議員



介護は家族だけの責任ではない。一日も早く支援条例の制定を!!

問 不登校で家族の世話を日常的に担っているヤングケアラーの疑いがあるケースは、何件把握しているのか。
部長等 7件でうち1件は不登校の状態が確認されているが、把握した全ての家庭に対して関わりを持って、支援している。
問 市が把握した7件は、氷山の一角に過ぎないのではないか。全生徒を対象とした実態調査を早急を実施すべ



ヤングケアラーを支える取組

きと考えるが、いつ行うのか。
部長等 上半期には実施したいと考えている。
部活動改革ガイドラインの整合性
問 ガイドラインでは学校と別主体の運営が原則とされているが、会長が教育長で事務局も教育委員会内にあり、学校部活動との連続性の体制となってる。地域クラブの自立性確保のため、行政の役割関与の範囲を整理する必要があるのでは。
部長等 教育委員会が運営主体となるので学校とは別主体と認識している。

(一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。)

豊丘小学校を小規模特認校に

検討する



みずこし まさかず
水越 正和 議員



学校は、子供と地域の宝物。宝を皆で磨こう

問 当市における複式学級の基準は。
教育長 県の基準（2学年合わせて8人以下）を適用している。
問 そのデメリットは。
教育長 児童側では、教育活動の幅が制限されることだ。
問 解消策はあるのか。
教育長 須坂学園構想を推進していくことだ。
問 学園構想は6、7年先のことで、在校生は卒業してしまう。
教育長 現況通り補助員を配置して対応する。



複式学級が行われている豊丘小学校

問 小規模特認校制度を創設するにはどの程度の時間を要するのか。
教育長 当市にはその制度が無いので、あらゆる角度から検討しなければならぬ。1、2年かかるかもしれない。
問 豊丘小学校の周りには豊かな自然があり、農業小学校で培ったレガシーもある。また旧園里学校で地域の歴史文化を学ぶこともできる。モデル校としてはどうか。
教育長 学園構想は小規模校解消が目的だが、一時的に特認校と言うことは考えられる。
問 一時的にせよ実施してもらいたい。
教育長 検討する。

給食を「柱」とした各施策展開を

積極的に取り組み、PRしていく



はやかわ こうき
早川 航紀 議員



給食の質とDXは須坂の未来の基盤。全庁的な意識改革で死守を

問 国の児童一人当たり月額5200円の補助で給食費はどのようになる。
部長等 市は、児童一人当たり月額6200円ほどかかっている。質は落とさず不足分は臨時交付金などを活用し、26年度は無償化を実現する。
問 学校給食の特色は。
部長等 自然素材の果汁や電解水で洗浄したシャキシャキ野菜などの質の高さや、学校と連携した食育の取組が自慢。今後市内外に一

層PRしていく。
問 須坂市内産食材の使用状況は。
部長等 りんご、ぶどう、しめじ、えのきは100%市内産。野菜全体だと全体量の3.3%。お米は市内での生産量が減少しており、全量はまかなえなくなつた。
問 「給食充実基金」の設立を。
市長 すぐに基金設立は難しいが、ふるさと納税を活用するなどして考えていくことは大切。
問 推進会議のメンバー構成が形式的と見受けられるが推進を約束できる体制か。
市長 市長、副市長、各部署長のリーダーシップのもと、デジタル活用推進室を主体に進める。

開始 DX推進計画が26年度



須坂市学校給食 ひなまつり献立

（一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。）

区役員負担軽減の提起は

相談を受け伴走支援



おかだ むねゆき
岡田 宗之 議員



小規模な区ではブロック
対応が大きな負担。市の
積極的な関与を

問 自治会の負担軽減を市が主体的に関与し、組織の在り方をゼロベースで見直す必要があるのではないか。
部長等 行政が一方的に進めるのではなく区からの相談を受けながら伴走型で支援。
問 ブロック業務の負担軽減のため、事業中心から情報共有や意見交換の場へ見直してはどうか。
部長等 検討し必要な助言や支援を行う。



迷ったら「#7119」
お子さんの救急相談は「#8000」

消防・救急体制の充実
問 救急車を呼ぶべきか判断に迷う場合は。
部長等 救急安心センター「#7119」は、医師や看護師が電話で助言し、救急車の適正利用を図る仕組みで、利用を呼びかけている。
問 市公式LINEから#7119へ簡単に電話できる仕組みは。
部長等 関係課と確認し前向きに検討する。
問 長野市消防局との指令共同運用による相互出動は。
部長等 通常出動は各消防本部の管轄内で対応し、大規模災害時などは相互応援で対応する。

屋代線跡地道路の事故対策は

視認性向上等対策が可能か検討



にしわき たかし
西脇 隆 議員



財政危機を乗り越えて
希望のある須坂市に向か
って走りだそう

問 屋代線跡地道路と交差する市道での車両事故が多く、優先道路と停止義務道路の区分が分かり難い。運転者の心理に即した改善は。
副市長 カラー舗装やゴム製ボールの設置、看板などで注意喚起を進めてきた。事故発生状況を随時警察署に確認し把握に努めている。標識や路面標示の強化・視認性向上等有効な対策が可能か須坂警察署と協議検討する。



交通事故の多い屋代線跡地道路と幸福ラインの十字路口

策 人口減少時代の税収対
問 人口減少は自治体の稼ぐ力をそぐ。特に個人住民税、法人住民税である。
一方、高齢者向けの医療・介護費は増え自治体の負担は増大する。なお、地方消費税も消費額が下がると総額は減少する。自主財源の縮小に対する対策は。
副市長 自主財源の増加については、施設使用料の見直し議論やネーミングライツの導入、企業版ふるさと納税の受け入れのほか「ふるさと納税の復活」に向けて、積極的に取り組むことと併せ、事業見直しと行財政改革の推進により、財務体質の改善を図っていく。

(一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。)

都市と地方の交流

地域の資源等を知る



まき しげのぶ
牧重信 議員



独自の「施設カルテ」で
機能評価を

問 産業の創出はできるのか。
市長 市の地域資源を活用した異業種の連携による新製品開発やAI・IoTの活用、カーボンニュートラルやGX分野の研究など産業間の連携を通じた人的ネットワークの構築などを行っている。
問 公共施設でリースの多い施設はあるのか。



若い世代が多く転入し、人口増につながっているのでは…

市長 施設コスト、利用状況、建物状況の視点で評価し、抜本的な見直しが行われている。
問 市の人口増加、最大課題は。
市長 最大の課題は出生数の低下であり、ながの結婚マッチングシステムの登録支援や、結婚・出産・子育て応援サイト「チアフルながの」での情報をPRした。社会増の取組としては、引き続き移住支援や子育て支援に取り組む。また、若者に企業マッチングの機会の提供などに取り組んでいく。
意見 最大の課題は「出生数の低下」なので、住んでいただくことが大切！

公立保育園の年間維持運営費は

10園で11億5700万円



あさの たかよし
浅野隆義 議員



夢は理想を描き、理想は計画をつくり、行動が未来を変える

問 保育園ごとに利用率やコストに大きな差があるが、市はこれを問題と認識しているか。
部長等 定員の見直しや施設の劣化調査を行い、適正な予算執行と格差是正を検討する。
問 市全体の子育て満足度は18%だが、改善策や目標数値はあるか。
部長等 医療費無償化・育休退園の見直しなど来年度から取り組む。満足度の数値目標は設定していない。



臥竜公園の菊を見学する園児

問 公立保育園以外の運営手法の考えはあるか。
市長 来年度保育所在り方検討会を立ち上げ、将来を見据えた整備計画を早急に策定する。
動物園の運営状況と今後の展望
問 入園者が3年連続で減少だが、どの水準で歯止めをかけるのか。
市長 12万人を目標に設定。SNSやイベント企画で取り組む。
問 「身の丈運営」「触れ合い動物園」それが将来のビジョンなのか。
市長 それを基本としてプロジェクト的に取り組み、臥竜公園全体の在り方も考えていく。

(一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。)

重伝建、施設の民間活用の検討は

多角的視点で研究を進める



やまざき えいち
山崎 永一 議員



入館料無料化は文化財の価値をかえて損なうのでは…と懸念します

問 旧小田切家住宅等の観光施設が土日以外休館となるが、平日は入館者がほとんどいないという状況なのか。
部長等 平日も入館者はあったが、より多くの入館者が見込める土日に注力するため。
問 イベント等への貸出は考えていないと伺ったが。
部長等 条例の制定や管理体制の整備も必要となるため、当面は自主事業のみ行いながら、



旧小田切家住宅
4月より平日休館、入館無料となります

イベント貸出を含めた今後の在り方について総合的に検討する。
問 そのような考えは後ろ向きではないか。条例制定が必要であれば早急に検討すべき。
部長 1年目なので先ほど答弁した形で運営したいと思っているが、年度途中で条例変更等を行うことは可能と思う。状況を見て判断する。
問 ロケや写真撮影の招致など休館を逆手に取った柔軟な発想を。ここで歩みを止めることは、価値を高めるために努力してきた関係者を裏切ることになる。
部長 制度が変わればかりですぐに結論は出せないが、前向きに考えたい。

ウォーターPPP導入は何年先か

最短で28年度を考えている



たけうち つとむ
竹内 勉 議員



身勝手な戦争で多くの民間人が犠牲に。戦争はダメの声を広げよう

問 導入した場合、最初の10年間は管理・更新一体マネジメント方式、その後は、運営権と利用料直接收受まで譲渡するコンセッション方式に移行。完全民営化になるのか。
部長等 総合的に判断。
問 大手企業が委託先となり、地元企業の仕事が減る心配は。

ウォーターPPP	
公共施設等運営事業（コンセッション） 【レベル4】	管理・更新一体マネジメント方式 【レベル3】
長期契約（10～20年）	長期契約（10年）
性能保証	性能保証
維持管理	維持管理
修繕	修繕
更新工事	【更新実施型の場合】 更新工事
運営権（従属権設定）	【更新実施型の場合】 更新権（更新権の行使は事業者が行う）
利用料金徴収	

ウォーターPPP導入
（引用元：国土交通省ホームページ）

部長等 地元企業とのJVを検討する。
問 ノウハウが水道局から失われる心配は。
部長等 心配はある。モニタリングの技術的知見は水道局が行う。
問 下水道使用料が2倍、3倍になる心配は。
部長等 導入が値上げに直結とは考えてない。
問 「国は下水道管路改築に係る国費の支援として、導入決定済み「要件」との答弁。あまりにもひどい仕打ちだ。水道局の見解は。
部長等 下水道管路の老朽化、自治体職員の不足や厳しい財政状況を考慮して、民間のノウハウ活用を推し進めるために国は要件化したと受け止めている。

（一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。）

産地偽装問題組織としての検証を

既に検証済み

みやもと やすなり
宮本 泰也 議員



尾を引く産地偽装問題！
一番弱い非正規職員にし
わ寄せが…!!

問 ふるさと納税を当てにした財政拡大が問題。市民生活に大きな影響を及ぼす当初予算を期に組織としての責任を取り、人心一新を。
副市長 最終的な責任は私にある。責任のとり方は、市長・副市長が辞めることでなく、解決に向けて取り組むこと。



観光交流センターへ移動するシルキービル2階の観光協会跡地に高校生の居場所を

問 シルキーに高校生
の居場所づくりを。
教育長 1階bota
ミーティングルームの
活用を。

問 学校がなくなれば
地域がなくなる。地区
外や不登校児等を受け
入れる小規模特認校制
度を活用。複式学級を
解消し豊丘モデルとし
て、豊丘小学校存続を。
教育長 新しい学校づ
くりの中で、活用がで
きるのか検討する。
問 9月にこだわらず、
地域住民が納得できる
過程を踏むべき。
教育長 今年9月をめ
どに基本計画を策定す
る。

問 会計年度任用職員
の採用基準の明確化を。
副市長 勤務状況を加
味し、希望調査をした
上で選考している。
**須坂学園構想と子ども
の居場所づくり**

地域の学校とは何か、問われている

修正した方針案を6月に示す

くぼた かつひこ
久保田 克彦 議員



文科省手引き改訂では、
学校統廃合は首長部局の
視点で検討を！と

問 聞く耳を持たない
姿勢を改め、豊丘
や高甫地域の皆さん
と協議をどうすすめ
るのか。
教育長 良く検討し、
方針案に反映させる。
問 出された意見に
どう応えるのか、出
かけて行って、ひざ
詰めで協議する絶好
の機会だ。
教育長 反対の方が
ほとんどの話し合い
が多い。そこには行
けない。



「市民の会」のみなさんが
教育委員会に要請行動

問 初めての複式学級
を検証し、具体的な支
援策など「運用方針
(仮称)」にまとめ、
今後に生かすべきだ。
教育長 教育効果も確
認でき、課題も見えた。
**みんなの施設30%余の
削減計画、数値に正当
な根拠があるのか**
問 維持管理費になぜ
減価償却費を含めるか。
部長等 国の指導だ。
問 更新費用の推計で、
国の交付税措置等を考
慮しないのはなぜか。
部長等 市民に、分か
りやすく示した。
問 市の目標人口で算
定しないのはなぜか。
部長等 課題の深刻さ
が見えにくくなる。

(一般質問の記事と写真は、提出者の原稿のとおり掲載しています。)



議案説明書等

3月定例会の議案結果

全会一致による可決案件

番号	件名
議案第2号	第六次須坂市総合計画の基本構想の変更
議案第3号	長野広域連合規約の変更
議案第4号	辺地に係る総合整備計画の策定
議案第5号	市道の認定
議案第6号	市道の変更
議案第7号	須坂市手話言語条例の制定
議案第8号	須坂市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
議案第9号	須坂市老人福祉センター条例の全部を改正する条例
議案第10号	須坂市名誉市民条例の一部を改正する条例
議案第11号	須坂市議会議員及び須坂市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例
議案第12号	須坂市議会議員及び須坂市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
議案第13号	須坂市行政手続条例の一部を改正する条例
議案第14号	須坂市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
議案第15号	須坂市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第17号	須坂市資金積立基金条例の一部を改正する条例
議案第18号	須坂市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第19号	須坂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第20号	須坂市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第21号	須坂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第23号	須坂市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例

番号	件名
議案第25号	須坂市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
議案第26号	須坂市火災予防条例の一部を改正する条例について
議案第27号	須坂市ふるさと納税問題第三者委員会条例を廃止する条例
議案第28号	2025年度須坂市一般会計補正予算第7号
議案第29号	2025年度須坂市国民健康保険特別会計補正予算第3号
議案第30号	2025年度井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計補正予算第2号
議案第31号	2025年度須坂市介護保険特別会計補正予算第3号
議案第32号	2025年度須坂市後期高齢者医療特別会計補正予算第3号
議案第33号	2025年度須坂市水道事業会計補正予算第2号
議案第34号	2025年度須坂市下水道事業会計補正予算第1号
議案第37号	2026年度井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計予算
議案第38号	2026年度須坂市介護保険特別会計予算
議案第40号	2026年度須坂市水道事業会計予算
議案第41号	2026年度須坂市下水道事業会計予算
議案第42号	2026年度須坂市宅地造成事業会計予算
議案第43号	2025年度緊急防災・減災事業須坂市消防署小布施分署建設建築主体工事請負契約の締結
同意第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること
決議第1号	中東地域での戦闘行為の中止と平和的解決を求める決議 提出者：中島義浩、岩田修二、霜田剛、浅野隆義、竹内勉、堀内章一

議案審議

委員会

分科会

一般質問

審査結果

ミニクイズ

★答えは19ページ

- Q1 須坂市発祥の果物「ワッサ」は、どのように生まれたの？
- ① 白桃とネクタリンの交配
 - ② リンゴとネクタリンの交配
 - ③ 柿とネクタリンの交配
- Q2 「ワッサ」の名前の由来は？
- ① ワッサワッサ
 - ② 作った人の愛称
 - ③ 外来語で桃をワッサと呼んだ

陳情審査結果

● 陳情第1号
旧リサイクル事業団跡地に放置された不適切廃棄物及びマイクロプラスチックの完全撤去を願う陳情

陳情者 市民ボランティア・不法投棄監視パトロール員
葉監視パトロール員 宮下芳一

採決結果 趣旨了承

賛否が分かれた議案

議案等名	議決結果	会派名																				
		市民共創会	いいよね須坂			共産	清風会	輝奏会			シユブ		公明									
		宮本泰也	荒井敏	岩田修二	浅野隆義	山崎永一	西脇隆	早川航紀	野崎天馬	竹内勉	久保田克彦	荒井一彦	牧重信	霜田剛	中島義浩	岡田宗之	水越正和	酒井和裕	浅井洋子	石合敬	堀内章一	
議案第 16 号	須坂市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	修正案 須坂市一般職の職員の給与に関する条例及び須坂市一般職の任期付き職員の採用等に関する条例のそれぞれの規定を令和8年1月1日から適用とする修正 提出者：荒井敏、岩田修二	●	○	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	-	●
議案第 22 号	須坂市峰の原高原飲料水供給施設給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第 24 号	須坂市水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
	付帯決議案 計画どおり5年ごとみなおすのではなく、都度、社会情勢を加味し、極力値上げ幅を抑える努力を求める付帯決議 提出者：経済建設委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第 35 号	2026 年度須坂市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第 36 号	2026 年度須坂市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議案第 39 号	2026 年度須坂市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○
議会第 1 号	須坂市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例 提出者：岡田宗之、宮本泰也	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●
議会第 2 号	須坂市議会議員定数条例の一部を改正する条例 提出者：浅井 洋子、荒井敏	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	●
決議第 2 号	議場に国旗及び市旗を掲揚する決議 提出者：早川航紀、中島義浩	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○

☆ ○は賛成 ●は反対
 ☆ 議長 石合 敬は、可否同数以外は採決に加わらない。
 ☆ 会派名の略称：共産→日本共産党 シユブ→シユプリンゲン 公明→公明党

広域連合議会等報告

高山村外一市一町財産組合 議会

2月18日

令和6年度決算

歳入総額168万9430円、歳出総額131万3100円、実質収支額37万6330円。

変更。

令和8年度予算

予算総額は歳入歳出それぞれ141万円で前年度当初予算と同額。

分収造林契約の変更について

令和7年度補正予算（第1号）

分収造林契約（2者契約）のうち2件について、長野森林組合を造林者とする3者契約にし、契約期間についても当初予算からの累計額を歳入歳出それぞれ57万1000円追加し、198万1000円に補正。

須高行政事務組合 議会

2月19日

須高行政事務組合議会定例会が開かれ、条例改正1件、補正予算1件、令和8年度一般会計予算1件の計3議案が審議され、いずれも原案どおり可決された。
 令和8年度の一般会計予算は約2億146万円で、前年度より約2814万円の減額となっている。火葬場「松川苑」、休日緊急診療室、衛生センター、広域総合プール等の管理運営費が計上され、施設修繕費の見直しなどにより全体として予算が抑えられている。

長野広域連合議会 定例会

2月20日

提出された当初予算等が原案どおり可決された。
 次期一般廃棄物最終処分場建設候補地の選定についての報告
 ①可燃ごみの焼却量の減少による埋立量の減少
 ②溶融スラグの再利用量の増加に伴う埋立量の減少
 ③ばいじんの埋立中止（令和8年度から外部搬出）
 ④溶融資源物の資源化の可能等により、次期処分場建設の規模・経費等の再検討（令和9年2月までに決定）

議案審議

委員会

分科会

一般質問

審査結果

議会の動き

議会運営委員会

行政視察報告

兵庫県神戸市 人と防災未来センター

1月15日

人と防災未来センターは、阪神・淡路大震災の経験と教訓を次世代に伝え、防災・減災の知識を学ぶ防災学習施設。西館（震災の記憶・教訓）と東館（防災・減災の知識）で構成され、震災のさまざまな教訓を体験的に学んだ。



人と防災未来センターにて

入欠損を基金の取り崩しで切り抜けた。また、議会としての監視機能を發揮し、監査委員の役割強化と決算委員会の審査強化を行った。

須坂市議会においても、行政側の報告を待たず、特別委員会の活用等を含め、再発防止策の進捗を行政とは独立した視点で厳しく監視し続ける姿勢が不可欠である。



洲本市視察の様子

兵庫県洲本市 ふるさと納税の取組（指定取消からの再生と議会の役割）

1月16日

洲本市は、返礼品基準違反（温泉利用券の高還元率等）や地場産品基準違反（牛肉）により、約2年間の指定取消処分を受けた経験を持つ。

今回の視察では、どのように財政危機を耐え抜いたのか、どのような再発防止策を構築したのかを学んだ。

同市は、数十億円規模の歳

須坂市議会議員研修会

1月19日

議会の活性化を図り、市民の関心をより高める方策等を検討していくため、早稲田大学デモクラシー創造研究所地域経営部会長の中村健氏を講師として招き、「議会と議員が求められる改革」と題して、新しい時代の改革の動きの事例や今後議員は何をしていかなければならないのかな

北信3市議員研修会

1月30日

中野市、飯山市、須坂市の3市議員51名が参加し、長野地方気象台次長の渡辺記秀氏から「気象庁が発表する防災気象情報について」と題して講演をいただいた。

講演では、台風や大雪などの災害をもたらす主な気象現象のことや、注意報、警報など段階をおって発表される防災気象情報のこと、また、令和8年の大雨時期から防災気象情報が変わることなど、身近な北信地域の事例を含めてお話しいただいた。

北信3市議会では、議員の資質向上と情報交換のため、毎年、合同で研修会を開催している。



研修の様子

どの講演をいただいた。

講師からは、徳島県川島町長就任時のご経験や全国の地方議会の先進的な取組のほか、議会は住民に代わり「話し合い&決める」合議体であることから、住民との対話を通じて、行政のみならず、議員間でも対話を重ね、課題などの解決策を講じることの重要性を具体的な事例を交えてお話いただき、大変有意義な研修会となった。

高校生モニター会議

2月3日

「こんにちは！須坂市議会です」（市議会だより）モニターの高校生の皆さんから、直接、市議会だよりや身近な課題についてざっくばらんに意見を出し合う意見交換会を開催した場所は、bota（須坂駅前）のミーティングルーム。高校生モニターの皆さんから様々な意見が出されました。

「こんにちは須坂市議会です」第186号について

- 高校の美術部の絵画を紹介したことで読むきっかけとなった。
- 議員の氏名に仮名を付けるとよい。
- 質問欄が読みやすくなった。

イオンモール須坂ができて感じること

- 高校生はバス代が負担。ラウンドワン長野のように無料バスがあるとうれしい。
- 須坂に映画館ができてうれしい。
- イオンモール須坂を選挙会場にして無料バスがあると、選挙に行くと思う。



意見交換会の様子



意見交換会アンケート

月日	議会名	視察内容
10月 3日	埼玉県深谷市議会	多職種連携地域母子保健システム「須坂モデル」
10月21日	岐阜県中津川市議会	減塩対策の取組
10月22日	福岡県宗像市議会	「須坂産フルーツ発泡酒」を核とした果樹振興と販わい創出事業
10月27日	群馬県邑楽町議会	地域未来投資促進法を活用した企業誘致
10月29日	埼玉県蓮田市議会	新規就農者支援事業
10月30日	宮城県大崎市議会	新規就農者確保の取組
11月 6日	岐阜県土岐市議会	地域未来投資促進法を活用した企業立地
11月11日	新潟県新潟市議会	新規就農者支援事業
11月12日	宮城県石巻市議会	移住支援信州須坂モデル
2月 6日	千葉県野田市議会	須坂長野東インターチェンジ周辺地区開発
2月 9日	岐阜県岐阜市議会	地域未来投資促進法を活用した土地利用調整

須坂高校 写真部の紹介

ミニクイズ の答え

Q1 正解は、①

ワッサーは故・中村渉（なかむらわたる）さんの農園で、山根白桃とネクタリンが自然交配したことによって偶発的に生まれた品種です。

Q2 正解は、②

中村さんの幼少期の愛称「わっさん」に由来しています。

須坂高校写真部は3年生9人で活動しています。校内外のイベントの撮影や月一での部内フォントコンテストを行っています。

また、須坂市の協力のもと市内の事業所の撮影、本校の部活動の記録撮影を行うこともあります。

全校の思い出を、生徒目線で記録できるととても楽しい部活です！

部長 伊藤 梓 さん



「朝焼け」
原瑠七 さん



「桜」
古城理紗 さん



「山」
宮崎愛生 さん



「おやつタイム」
永田未桜 さん



「電車」
中村知世 さん



「街並み」
中沢汐里 さん



「夏の空」
武田心咲 さん



録画継続

令和8年3月定例会本会議をインターネットで録画配信中 ご覧ください▶▶▶▶▶

市民の声

これからの須坂市に期待すること、
新生活の目標についてお聞きしました。



中学校では墨坂祭をとっても楽しみにしています。
一方で勉強には少し不安もありますが、習い事や日々の努力を通じて成長していきたいです。頭を良くするためにもコツコツ勉強に取り組み、毎日楽しく過ごせたらいいなと思っています。
須坂は悪いところがなく、特に臥竜公園の桜が大好きです。
山田夏帆(かほ)さん(米持町) 宮本愛瑠(あいる)さん(米持町)



須坂市は自然や地域のつながりが魅力です。特色を生かしたイベントを充実させ、外からの来訪者も楽しめる企画を増やすことで活気が高まります。若者主体の参加で交流と楽しい発想が生まれ、魅力の発信につながることを期待します。
竹前颯汰(そうた)さん(幸高町)



小山小学校入学式にて

須坂市でも少子化が進む中、我が家では本年、二男が中学校に、長女が小学校に入学しました。子供たちにとって安心な居場所を沢山つくりたい。
また、市や町が一体になって事業を展開し、安心・安全で住みよい環境が未来まで持続するような市になって欲しい。
中條真央(まお)さん(母) 莉聡(りお)さん(長女) 圭吾(けいご)さん(父)
(屋部町)

傍聴にお越しください

令和8年 6月定例会 会期日程(予定)

月日・曜日	開議時刻	摘要
6月8日(月)	10:00	開会
16日(火)～19日(金)	9:30	一般質問
22日(月)～24日(水)	9:00	予算決算特別委員会(分科会)・常任委員会
29日(月)	9:30	予算決算特別委員会
7月1日(水)	10:30	閉会

※上記日程は変更になる場合があります。
※一般質問通告要旨は、地域公民館でもお知らせします。(6月11日以降)
※傍聴時の託児・手話サービスがあります。(事前に議会事務局へご連絡ください。)
※本会議場では大型モニターに発言の文字起こし表示を行っています。

「こんにちは須坂市議会です」電子書籍版をスマートフォンなどでご覧いただけます



NAGANOebooks (サガノイーブックス) はこちらから

須坂市議会公式 SNS /

議会の予定や結果などをお知らせしています。



Instagram



フェイスブック



エックス(旧ツイッター)

「こんにちは須坂市議会です」へのご意見・ご感想は下記へ

須坂市議会事務局

電話: 026-248-9014

FAX: 026-248-3365

E-mail: s-gikaijimukyoku@city.suzaka.nagano.jp



須坂市議会HP

編集後記

新年度を迎えたが、物価高騰が続いている。加えて、当市の新年度予算は、前年度比22・3%減の242億5千万円と、少なからず市民に犠牲を強いるもので、暮らしの窮地に追い打ちをかける。

本定例会の閉会日、条例改正案と決議案各々2件が議員提案された。議会での議論がない、市民への説明が不足している、との討論もあった。言論の府として、教訓にした。

さて、米国とイスラエルの先制攻撃、またイランの報復、この戦闘行為の中止を求め、決議を全会一致で採択した。政治のうえで、の春は見通せないが、自然界の春は、一歩一歩すすみ、この号が、みなさんに届く頃には、春から初夏へと季節が移っている。(久保田)

市議会広報特別委員会
委員長 野崎 天馬
副委員長 水越 正和
委員 山崎 永一
牧田 重信
久保田 克彦
宮本 泰也
浅井 洋子